



# 2026年3月 セキュリティ対応状況と検知状況

2026年4月  
NTT東日本株式会社

## セキュリティ対応状況

警察庁サイバー警察局より、「令和7年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」が公表されております。

本レポートでは、生成AIの悪用やランサムウェアを中心に、令和7年(2025年)のサイバー空間の脅威が総括されております。生成AIを用いた悪用事例も多く報告されており、不正プログラムやフィッシングサイトの作成、詐欺ポップアップの生成や日本人をターゲットとするための脅迫文の翻訳などが具体例として挙げられております。

ランサムウェアの被害報告については、226件と依然として高水準となっております。特に組織の規模別としては中小企業、業種別としては製造業が多くの割合を占めております。復旧にかかった費用としては総額1,000万円以上要した割合が被害報告の5割を超えており、また、1か月未満で復旧した組織の割合については5割強にとどまっていることから、事業継続に深刻な影響が出ている事例も発生しています。対策としては、OSやアプリケーションの定期的なアップデートの適用、不審なメールに添付されているファイルを開かないといった基本的な対策が重要となります。

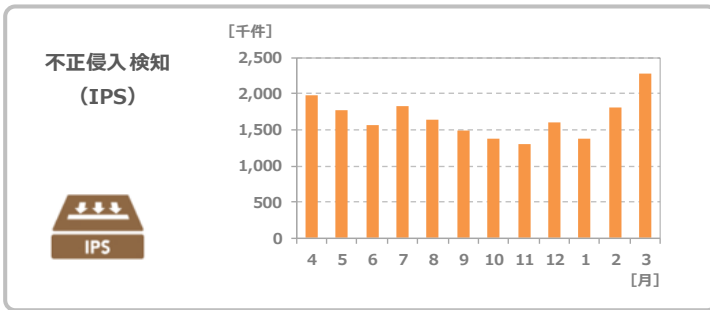
■参考警視庁

[https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R7/R07\\_cyber\\_jousei.pdf](https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R7/R07_cyber_jousei.pdf)

## セキュリティ検知状況

- ・ おまかせサイバーみまもり専用BOXで検知したアラート数をNTT東日本が集計
- ・ 集計期間：2025年4月～2026年3月

### 不正侵入検知

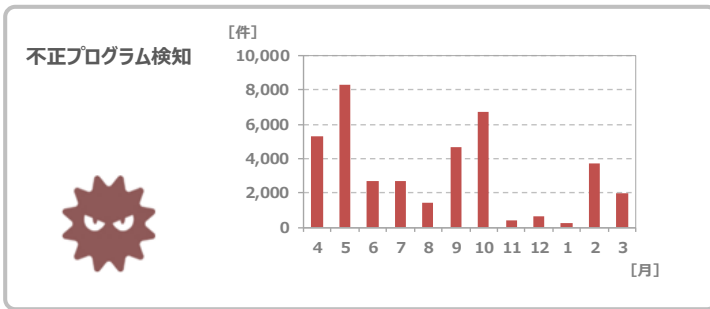


直近12カ月平均：1,669,789件  
2026年3月：2,284,428件

直近12カ月の月平均に比べ高い検知状況となりました。

引き続きサーバ等を公開する際には十分にセキュリティ対策を実施してください。

### 不正プログラム検知

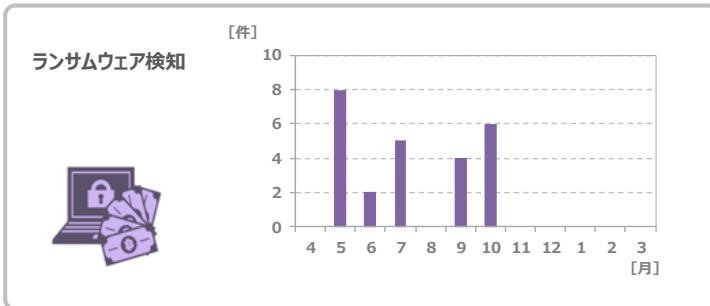


直近12カ月平均：3,219件  
2026年3月：1,985件

直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況となっています。

インフォスティーラー(Infostealer)<sup>※1</sup>などの不正プログラムについては、引き続き十分に注意してください。

### ランサムウェア検知



直近12カ月平均：2件  
2026年3月：0件

3月は検知数が0件となり、直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況となっています。

ランサムウェアには、引き続き十分に注意してください。

※1：感染した端末から機密情報を密かに盗み出すことを目的としたマルウェア(不正プログラム)の一種。パスワード、クレジットカード情報、内部ファイルなど、あらゆる情報を盗み取るために設計されたマルウェアのこと。